

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社 協伸電業)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目													
							1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			住宅から公共施設まで、電気設備の設計・施工を手掛けており、各現場責任者を中心に管理・教育を行い、それを基に経営者が集約を行い雇用・教育・福利厚生等従業員の声に耳を傾けながら関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			社内全体会議を通して、コンプライアンス研修を行い、相談体制の構築を行う。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			労働基準法を基に改正内容等経営者・従業員で共有し、有給休暇や休日出勤が伴う場合、振替休日の徹底を図り社員の体調管理を図る。							8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			下請業者・派遣労働者で外国人労働者の雇用が増えている為、適切な待遇や労働環境の整備等心掛けている。			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			各現場で、安全委員会を実施し、現場でのリスクを従業員と共に共有し情報交換していく事で安全で衛生的な労働体制を構築していく。		3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			従業員と定期的に面談やコミュニケーションを図る事で、普段の悩みや身体の負担等把握に努めている。		3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			現在、平均年齢が59歳であり、高齢者の従業員が活躍出来る様安全に配慮しながら、現場配置している。経理以外に技術職に女性雇用を行う等幅広い職場環境を提供している。			5.1 5.5			8.5 10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			新卒からベテランまで資格取得や講習会に参加するよう学びの場を提供している。		4	5.5			8 9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			労働契約法等改正する内容を経営者・従業員で共有し同一労働同一賃金の原則に沿った待遇を構築。			5.5			8.5 10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			従業員全員の健康診断(胃カメラや心電図等)を会社で負担し健康投資を行っている。		3				8								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			産業廃棄物は、適切に分別し処理を行っている。(提携先の産業廃棄物処理事業者とリサイクル活動を実施)									11.6 12	14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			本社事務所の燃料・使用電力を記録し使用量の把握。冷暖房のON・OFFを徹底。					7.3				13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)	【予定】		CO2削減活動として、営業車を中心にハイブリッド車や電気自動車の導入(車両入替を目途)				7.2 7.3				12.4 13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			法令で規制されている有害把握物質を把握し、各現場に入る際に適切な使用を徹底。		3.9		6.3				11.6 12.4						

項目番号	力テゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			法令で規制されている有害把握物質を把握し、各現場に入る際に適切な使用を徹底。								6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			オール電化や太陽光等、環境に配慮された設備導入の提案を心掛けている。															13	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			現場で無駄を無くす為、資材管理の徹底・既存品の再使用に取り組んでいる。							6.4	6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)			自社の水源を含む水利用状況を本社・現場で把握出来る様努めている。				3.9		6	7							12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)																		12.6			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			ガスからオール電化への切替やLED電球使用を心掛けている。太陽光を設置し再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2							13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			取引先へ設備機器導入の提案する際、省エネ機器の推進・提案を行っている。一般住宅にはエコキュートの設置の推進を行っている。														12.2	13	14	15	
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			コンプライアンスを徹底し、経営の健全性を意識し、従業員に周知している。															16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			不正な競争を含む社内規制の整備の徹底する為、定期的に会議を実施。															16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			電気工事の作業効率を上げる為に知的財産の開発等心掛けている。							8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			個人情報保護方針に従い、個人情報の利用目的等法改正に沿って適切に管理している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			自社で取り扱う機材を把握し、紛争鉱物を取り扱っていない事を確認している。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			長野県電設業協会を交えて人権侵害防止や倫理面での適切な対応や市場調査等の情報供給を行っている。					5			8	10	12	13	14	15	16	17			
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【予定】		中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。(3年内目途)			3					8	9	10						17		

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			電気工事に入る際、配線診断を行いサービスの安全性を意識し、製品管理も自社内で徹底している。(独居老人宅の配線診断等)			3.9										12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			長野県電設業協会にも加入しており、お客様に高品質な設備の提供を心掛けている。										9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			エコケーブルやLED電気・太陽光等省エネ機器の推奨を行っている。					6								12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			太陽光設置から蓄電池の設置に必要な講習を受け、提供出来る様準備をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			定期的に地域の街灯の掃除を行っている。			4						9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			個人住宅(独居老人宅等)の配線調査を行い、漏電チェックしながら改修工事を行いリスク回避を行っている。			4									11		14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ(任意)			主な仕入れ先に地元の企業を利用している。									8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			経営理念・品質方針など明文化しており、事業活動や方針を従業員へ周知徹底し共有している。									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)			定例会議や社内研修を通してコンプライアンスの重要性を発信している。																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)			新卒からベテランまで多数の技術資格者を配置し体制の構築を心掛けている。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			設計～工事完了後のメンテナンスまで発注者やお客様との対話を意識し適切な対応に努めている。																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)			現場に入る前のリスクの洗い出しや、気象アラートで天候のチェックを行う等予め適切な対応を心掛けている。																		16
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ(任意)			電材協会で連絡網を作成しており、災害発生時、連携出来る様にシステムを構築している。																		16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)			事業継続計画に必要なハザードマップの定期的な確認や安否確認に必要な連絡網の準備を行っている。											9		11	13	13.1			16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)			後継者育成計画を作成し、事業継承に関する対策を検討している。										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定